

防災団ニュース

(稲毛スカイタウン自治会・防災団 2024年9月発行)

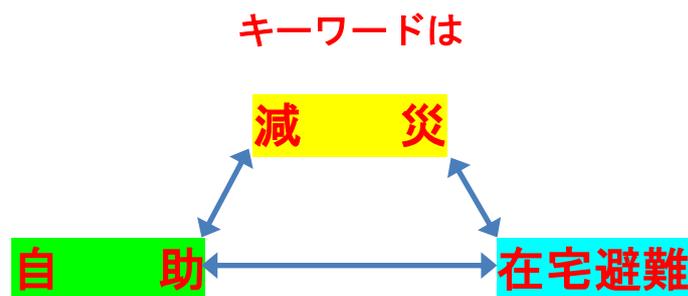
2024年は、年初から災害に関するニュースが続いています。震度7を観測した能登半島地震のほか、2月末からは千葉県でも、千葉県東方沖の「スロースリップ」現象（陸側と海側のプレートの境界がゆっくりずれ動く現象）による地震が続きました。4月には愛媛県・高知県で震度6弱の地震が発生し、8月に宮崎県で発生した震度6弱の地震により南海トラフ地震臨時情報が発表されました。

7月には梅雨前線の影響で東北地方の日本海側を中心に大雨となり、大きな被害が出ました。また、8月16日の台風7号は千葉県直撃をまぬがれましたが、西小中台小学校の体育館の屋根がめくれあがった令和元年の房総半島台風を思い出した方も多かったのではないのでしょうか。

今号の防災団ニュースでは、**首都直下地震など大規模地震**を想定した「備え」について考えます。スカイタウンでは洪水など水害の恐れがほぼ無いため、地震への「備え」で、台風・大雨への「備え」も多くがカバーできます。

あわせて、9月14日（土）に開催予定の防災訓練の内容についてもお知らせします。

首都直下地震は、東京都、茨城県、千葉県、埼玉県、神奈川県、山梨県を含む南関東地域のどこかを震源として起こるマグニチュード7クラスの大規模な直下型（内陸で起こる）地震のことです。**30年以内に発生する確率は70%程度**とされていますが、**いつ起きるかはわかりません**。台風のように予想に基づいて準備することができないため、**日ごろからの「備え」が大切**になります。



そして「共助：互近助」です。

【 減 災 】

首都直下地震などの自然災害の「発生」を人間に力にくい止めることはできませんが、私たちの日ごろの努力によって災害の「被害」を減らすことは可能です。これが、「減災」です。「減災」は、1995年に発生した「阪神淡路大震災」の経験から生まれた取り組みで、「災害、または災害による被害は生じるもの」という考えを前提に、その**被害を最小限に抑えるために備える事前対策**をいいます。